

研究所の概要

医薬産業政策研究所は、日本製薬工業協会（製薬協）のもとに、1999年1月に設立された研究機関です。

研究活動の目的

製薬産業に関する調査、分析、研究およびそれらの成果の提言を通じて、革新的で有用性の高い新薬を創出するための環境の整備・充実並びに製薬産業の健全な発展に資することを目的とする。

研究概要

1. 製薬産業の将来ビジョン及びビジョン実現に向けた戦略の研究
2. 製薬産業に係わる産業組織、産業構造、産業政策等の研究
3. 革新的新薬の創出に係わる課題・内外環境の研究
4. 医療DX・健康医療データの活用に係る課題・制度の研究
5. 医薬品の価値が適切に評価される薬価制度、医薬品の品質・有効性・安全性の確保と国民の保健衛生の維持・向上のための薬事制度のあり方の研究
6. 製薬協の政策提言活動に対する支援
7. 産業政策に係わるデータベースの構築

陣容 (2026年4月時点)

研究所長：1名
研究顧問：1名
首席研究員：1名
主任研究員：9名
客員研究員：2名
(成城大学、学習院大学)

研究活動

当研究所は、研究／提言する研究所、開かれた研究所、切磋琢磨する場としての研究所といった機能を有し、外部との共同研究、委託研究等も取り込みながら、積極的に研究活動を進めています。

研究／提言する研究所

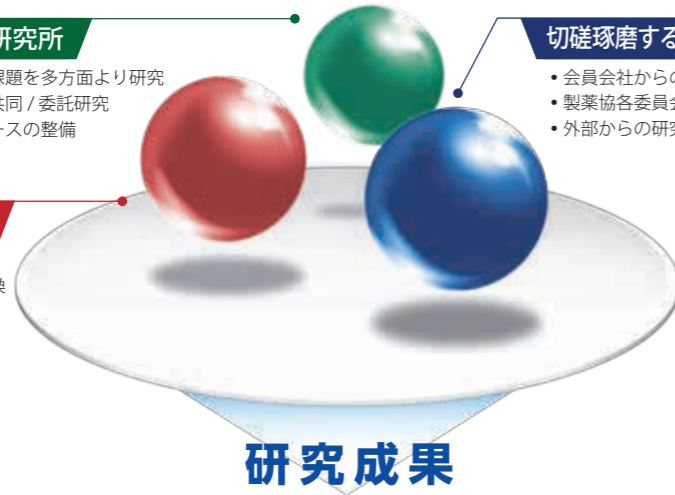
- 産業全般に係わる政策課題を多方面より研究
- アカデミア等を交えた共同／委託研究
- オリジナル・データベースの整備

切磋琢磨する場としての研究所

- 会員会社からの研究員出向
- 製薬協各委員会への参画
- 外部からの研究員招聘

開かれた研究所

- 研究成果の公開
- 産官学との情報・意見交換



研究成果（刊行物のご案内）

研究活動の内容、成果につきましては、刊行物としてまとめ、ホームページ等を通じて公表しています。
(<https://www.jpma.or.jp/opir/index.html>)



ポジションペーパー

Position Paper

これまでの研究成果をもとに、重要テーマに関する政策研の見解をまとめた資料



研究会報告書

Study Group Reports

政策研のメンバーを中心とした研究会の調査・研究内容をまとめた報告書



政策研ニュース

OPIR News Views and Action

政策研の活動状況やその時々トピックスをまとめた機関誌

研究テーマ

当研究所における近年の研究結果・最近の研究テーマは以下の通りです。

革新的医薬品の創薬環境整備

- 日本の新薬創出力の実態把握（世界売上高上位医薬品の創出企業の分析、日米欧の新薬承認状況の比較、国内未承認薬の動向、米国開発パイプラインの分析、前臨床段階での提携・買収実態調査等）
- 創薬力を担う米国・日本の新興医薬品企業（EBP）の実態分析
- 世界の創薬エコシステム分析

医療DX・健康医療データ利活用に係る制度 方向性の検討

- 製薬業界の健康医療データの利活用ニーズの把握と利活用意向調査
- 日本の健康医療データ利活用に関する社会的受容の条件の把握
- 製造販売後調査等に関する最近の動向と製造販売後データベース調査の経済性評価
- 医薬品開発におけるAIやウェアラブルデバイスの活用状況

医薬品の価値評価、品質・有効性・安全性維持・向上のための薬事制度のあり方

- 日本の医薬品市場、薬価制度の実態把握と評価
- 医薬品の価値評価を高めるPRO（Patient-Reported Outcome）の研究
- 日本先行承認医薬品の特徴と関連要因についての調査
- アンメットメディカルニーズに関する調査研究

産業政策に係わるデータベースの構築

- 医薬品産業の市場・収益構造や経済貢献に関する基礎データ集の構築
- 製薬産業の実態と社会・経済的貢献に関する研究

研究所の位置付け

製薬協は、新規医療用医薬品の開発を通じて社会への貢献をめざす研究開発志向型の製薬会社が加盟する任意団体であり、現在、その中には16の委員会・検討会等が組織されています。
当研究所は、製薬協のもとにあって、これらの委員会・検討会等とは独立した組織として位置付けられており、製薬産業の中長期的な課題について、分析、研究を行っています。

